

愛知県がんセンターでの診療情報および診療時に採取・保管された検体を下記機関に提供し、下記研究に用いることになりましたのでお知らせします。

記

1. 研究責任者	伊藤誠二
2. 研究課題名	深達度SS/SE 胃癌患者における遺伝子変異の臨床的有用性を評価する大規模バイオマーカー研究
3. 研究の目的・方法	<p>遺伝子プロファイルによる胃癌の分類と臨床病理学的関連や予後との関連を明らかにするため</p> <p>① 胃癌組織の遺伝子変異と全生存期間、無再発生存期間、再発部位との関連の検討</p> <p>② 遺伝子変異と臨床病理学的因子との関連の検討</p> <p>③ 試験治療である網嚢切除が有効となる効果予測因子の解析を行う。</p> <p>研究期間：平成29年8月24日から平成34年12月31日 (遺伝子解析：①行う)</p>
4. 研究の対象となる方	深達度SS/SE の切除可能胃癌に対する網嚢切除の意義に関するランダム化比較第Ⅲ 相試験 (JCOG1001)の登録患者
5. 研究に用いる検体・情報の種類	<p>検体名(胃がん治療のために採取されたがん組織と、がん組織を採取する際に同時に採取されたがん組織の周囲にある正常組織)</p> <p>診療情報内容(JCOG1001試験で得られた診療情報)</p>
6. 他機関への提供方法	腫瘍組織の一部は神奈川県立がんセンターに送付され、残りの腫瘍組織と正常組織は、株式会社理研ジェネシスに送付され、DNA抽出を行い、抽出されたDNAはバイオバンク・ジャパン(BBJ)に送付される。BBJから別の匿名化番号をつけた上で東京大学医科学研究所にDNAが送られ、遺伝子解析を行う。
7. 利用する者の範囲	神奈川県立がんセンター消化器外科(長 晴彦) 株式会社理研ジェネシス バイオバンク・ジャパン(村上 善則) 東京大学医科学研究所 ゲノム医科学分野(柴田 龍弘)

- ① この研究の科学的妥当性と倫理性は、当院の倫理審査委員会、遺伝子解析研究倫理審査委員会などにおいて厳重に審査され、承認されています。
個人情報の安全保護については、万全の体制下にて管理され実施されます。
また、調査項目は既存のデータであり、何らかの負担を生じることはありません。
- ② 具体的な研究内容を知りたい、あるいは、今回の研究に用いること、提供を拒否したい場合には下記の問い合わせ窓口までご連絡下さい。

★お問い合わせ★

愛知県がんセンター 中央病院臨床試験部試験支援室
倫理審査委員会事務局
住所：〒464-8681 名古屋市千種区鹿子殿1番1号
FAX：(052-764-2963)

e-mail: irb@aichi-cc.jp

(お問い合わせは、FAX、e-mail 又は郵送でお願いいたします。)